

II 事業概要

1. 学術振興事業

(1) セミナー「現代科学・技術の最前線」第119回

本会では、昭和57年より賛助員の皆様を対象に最新の知識と情報を提供すべく、広い分野の中から関心の高いテーマを選び、標記のセミナーを開催して参りました。

本年度は、科学技術のテーマを離れ、理工系の研究者が外国語で発表等する際の表現力の重要性を考慮して英語でのプレゼンテーション技法（発声・姿勢・動作）についてのワークショップを慶應義塾先端科学技術研究センター（KLL）との共催により、下記の通り実施いたしました。

回	開催日	内 容	講 師	会 場
119	H26. 11. 11 ～ H26. 11. 12	『 外国語プレゼンテーション －理工系分野を例として－ 』 開 会 挨 拶 〔ワークショップ〕 ■ 講演「国外でのプレゼンテーションの体験から」 ■ ワークショップ内容紹介 ■ セッション1「発声」 ～休 憩～ ■ セッション2「姿勢・動作」 ■ 質疑応答 閉 会	一般財団法人慶応工学会 常任理事 西山 繁 慶應義塾先端科学技術研究センター 所長 鈴木 哲也 元 NEC 刊・アルゼンチン代表 寺本 安久 Cultural and Linguistic Instructor Naomi Marvelly	慶應義塾大学 矢上キャンパス 14 棟 5 階 DS53・54

(備考) 今回は、上記内容で135分1コースとし、11日に2コース、12日に1コースの計3コースで行いました。受講者は、3コース合計で43名でした。

(2) 研究費援助

平成26年度研究費援助として、5件に総額1,200,000円支給。

(3) 国内学会出張費援助

平成26年度国内学会出張費援助として、20件に597,800円支給。

(4) 図書購入費援助

平成26年度慶應義塾大学理工学メディアセンター図書購入費として、200,000円の援助を行う。同センターでは、電子ジャーナル、書籍類購入費の高騰が慢性的に続いており、研究推進のための情報の充実に苦慮している。

(5) 研究会合費援助

平成26年度研究会合費援助として、2件に100,000円支給。

2. 国際交流事業

(1) 国外出張渡航費援助

平成 26 年度国際学会における研究成果発表のための国外出張渡航費援助として、10 件に 724,896 円支給。

(2) 国際交流渡航費援助

平成 26 年度日本と海外との間の国際的移動に伴う渡航費援助として、1 件に 65,000 円支給。

3. 育英奨学事業

(1) 慶応工学会賞

平成 26 年度慶應義塾大学卒業式に際し、成績優秀者 7 名に賞状および記念品を授与。

(2) 給費奨学金

平成 26 年度給費奨学金を 18 名に 6,480,000 円支給。

(3) 育英奨学

平成 26 年度育英奨学金を 3 名に 2,100,000 円支給。

4. 研究推進事業

(1) 平成 26 年度の委託研究契約は、36 件で、147,913,903 円であった。
(契約額の増額および期間延長を含む)

(2) 平成 26 年度の共同研究契約は、12 件で、529,400,360 円であった。
(契約額の増額および期間延長を含む)

(3) 平成 26 年度使用研究者指定研究資金としては、4 件で、6,500,000 円であった。

5. 学術普及事業

以下の第 47 回経済性工学セミナーの開催に関わる事務を受託した。

日 時：平成 26 年 11 月 28 日（金）～平成 26 年 11 月 29 日（土）

場 所：慶應義塾大学日吉キャンパス協生館 2 階多目的教室 2

講 師：中村善太郎 慶應義塾大学名誉教授

河野 宏和 慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授

篠田 心治 成蹊大学理工学部教授

稲田 周平 慶應義塾大学理工学部准教授

参加者：12 名（内 1 名 当日欠席）